

# 行政視察報告書

会派「誠の会」行政視察	令和元年7月17日（水）15:00～17:00	
視察先及び調査事項	堺市博物館	VRを利用した文化財の活用について
場所	大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内 堺市博物館	
概要	<p>国連教育科学文化機関（ユネスコ）が、諮問機関であるイコモス（ICOMOS）の勧告通り、日本最大の前方後円墳「仁徳天皇陵古墳」を含む「百舌鳥、古市古墳群」が、2019年7月に世界遺産に登録されました。</p> <p>「百舌鳥・古市古墳群（もず・ふるいちこふんぐん）」は、大阪の南部の巨大古墳群であり、百舌鳥（もず）エリア（堺市）の23基と、古市（ふるいち）エリア（羽曳野市・藤井寺市）の26基を合わせた49基が対象となります。</p> <p>49基の中で最も大きな古墳は「仁徳天皇陵」で、全長486m、高さ35.8m、体積140万m<sup>3</sup>の国内最大の前方後円墳ですが、最少の古墳は長さ23mの古墳群です。</p> <p>「仁徳天皇陵」はクフ王のピラミッド（体積260m<sup>3</sup>）、秦の始皇帝墓陵（体積300m<sup>3</sup>）と並ぶ「世界三大墳墓」のひとつです。</p> <p>4世紀後半から6世紀前半の古墳築造の様子がよくわかる遺産として2018年に推薦し、2019年5月14日に、世界遺産に登録する勧告が出され、日本では、23件目の世界遺産となりました。</p>	
視察	<p>今回の視察は、「堺市博物館」で、古墳群の情報や、出土した実物資料の展示の仕方、大型スクリーンでの古墳の雄大さを体感できるVR（バーチャル・リアリティ）映像について視察しました。</p> <p>2017年8月から、世界遺産登録に向けて、理解と関心を深める為に始まった、ヘッドマウントディスプレイを装着し、地上300メートルからドローンで撮影した百舌鳥古墳群の雄大な姿を360度映像で見て、約1600年前の古墳築造の姿や、立ち入れない古墳内部をCG映像で再現して、臨場感溢れる映像を体験出来ました。</p>	
考察	<p>大きな施設を、間近に見てもその巨大さの比較が出来ないが、最新技術のドローンや、CG映像で細部を見れば、こういった物を作れた当時の凄さを感じられると共に、日本の治世の在り方も、人それぞれに感じられる事が出来るし、そこまで思いが至らなくても、歴史への興味が沸き上がる事で、国を考える為の大きな一歩になると感じた。</p> <p>また、博物館は、その街を見る前に寄れば、その街をより深く知る事が出来る存在だと感じ、展示の仕方に、街独自のアイデンティティを見せなければと感ずる。</p>	